

環境影響評価審査会 北近畿豊岡自動車道部会（第3回）会議録

- 1 日時：平成25年10月31日（木） 11時00分～12時15分
- 2 場所：兵庫県庁1号館12階会議室
- 3 議題：一般国道483号北近畿豊岡自動車道（豊岡北～豊岡南）に係る環境影響評価概要書の審査について
- 4 出席委員：上南木委員（部会長）、遠藤委員、大迫委員、近藤委員、菅原委員、住友委員、横山委員
- 5 兵庫県：環境部長、環境影響評価室長、課長補佐兼審査情報係長他係員2名
自然環境課、水大気課、温暖化対策課、環境整備課
- 6 事業者：国土交通省近畿地方整備局
- 7 配付資料
 - 資料1 北近畿豊岡自動車道に係る環境影響評価に関する手続の流れ
 - 資料2 環境影響評価概要書についての豊岡市意見
 - 資料3 一般国道483号北近畿豊岡自動車道（豊岡北～豊岡南）に係る環境影響評価概要書についての審査会及び関係課からの意見 一覧
 - 資料4 一般国道483号北近畿豊岡自動車道（豊岡北～豊岡南）に係る環境影響評価概要書についての審査 部会報告（素案）について参考資料1 一般国道483号北近畿豊岡自動車道（豊岡北～豊岡南）環境影響評価概要書 補足説明資料
（大気汚染調査における最大値及び最小値について）
（路面排水に係る文献資料等について）
- 8 議事概要

事務局が資料1～3により、手続の進捗状況、地元市町、審査会及び関係課からの意見の概要等について説明。

その後、事業者が、参考資料1により、概要書について補足説明。

〔質疑〕

（委員）
鉛について、降下ばいじんが主な原因と結論づけられているが、道路上のペイントが主の排出源ではないのか。濃度とは全く関係がないので本質とは違うのだが、主発生源について、降下ばいじんがいいのか。

（事業者）
既存資料では、路面排水中の鉛濃度は主に大気由来と考えられている。他の発生源として路面由来もある。

（委員）
大気と言われているのは、排気ガスも入っているのか。

（事業者）
排気ガスや、工場等から排出されるものもあるが、既存資料では大気由来の中の内訳の分析は出来ていません。

（委員）

通常は燃焼ですよ。焼却炉からの排出がたぶん大きいと思う。

(事業者)

その内訳まではわかっていない。

鉛を使っている標識やガードレールもあるが、この調査地点は工業地帯等を調べた結果なので、工場由来の影響が考えられる。

(委員)

地域特性ということですね。

(委員)

亜鉛はタイヤ由来か。

(事業者)

全てではないが、路面排水から亜鉛の濃度が高いので、その原因を見ていくと、タイヤの製造過程で亜鉛を使うので、タイヤが削れていく中で亜鉛が出ているのではないかと既存資料ではまとめている。

(委員)

今回の道路の舗装面は、密粒度アスファルト舗装か。

(事業者)

密粒度舗装の予定です。

(委員)

では、排水性舗装ほどタイヤがすり減ることはないのか。

(事業者)

どれぐらいの差があるかはわからない。

(委員)

調査は、密粒度アスファルト舗装のところでやっているのか。

わからなければ別にいいが。

(事業者)

調査地点の舗装の種類はわかりませんが、調査地点は都市部なので、排水性舗装の箇所もあると思われます。

(委員)

参考資料の6頁、相模原市と江戸川区のデータが出ているが、ここで注意しないといけないのが、道路によって、環境も違うと思うが、かなり清掃のやり方、頻度が違う。江戸川区は吸引式で、清掃するたびに除去している可能性がある。

できるかどうかわからないが、清掃しなかったらどのくらい溜まるか、まずその予測があって、そのレベルがどういうものか判断して、それを下げる対策が考えられると思う。今出されているデータだと、清掃の頻度や、やり方もバラバラだと思うので注意を要する。清掃しなければどのぐらいの濃度になるか予測できれば、その値も参考にさせていただければ、次の対策に役立つのでは。

(委員)

SSが高いときに亜鉛も高い。SSはタイヤ由来だろうと予測がつくが、亜鉛は、環境で生物に対する影響が大きいということで、環境基準が定められていることもあり、やはりこういう場所なので、亜鉛には注意した方がよい。

道路の管理の仕方、維持管理というところでだいぶ対応できる部分もある。

どこまで対応できるか。実際に道路を設計する段階で排水溝をどこに置くかわかるので、距離とか路面の面積とか具体的にある程度はっきりした段階では、こういうデータをもとに予測できるかも知れない。

建設の段階で配慮しないといけないのではなく、供用時の清掃など道路維持管理上の課題として、路線の中でどこが問題になりそうなのかも含めて検討していただいたら良いかと思う。

全区間ではなく、谷川等に流れ込むところが特にその対象になると思う。

(事業者)

排水の設計は、事業実施段階で検討する。

(部会長)

管理面でどう対応しうるのか、というあたりの関連データも出れば、よりよい方向で考えられるかと思うので、可能な範囲で対応いただければと思う。

(部会長)

資料3の「事業者等対応」欄で、「 」になっているものは何か。

(事務局)

前回資料や部会等で事業者から説明があったものではなく、部会報告にこのまま記載し、対応をお願いすることになっているもの。

(委員)

鉛、亜鉛に関するところは、とりまとめの意見のどこかに反映されているのか。

(事務局)

ダイレクトではないが、路面排水ということで、資料3の9、10のところで意見を書き添えて、部会報告にも反映させる予定。

事業者退席後、事務局より、資料4により、部会報告(素案)について説明。

(委員)

用語について。資料4の、2頁目(3)の2行目、「集団もしくは群落単位で」とあるが、正しくは、「群集」という言葉が、「群落」に対応する。「群集」も「群落」も同じく「集団」とまとめた言い方がある。おそらく、動物と植物を意識して言葉が使われていると思うが、最初の方の「集団」は「群集」、つまり群れが集まること、植物は「群落」でよい。「集団」と書いてしまうと、動物と植物の両方が含まれてしまう。

あと、1頁目2(2)に書かれている凍結防止剤と融雪剤は違うのか。

(事務局)

凍結防止剤は塩化ナトリウム等で凝固点降下を起こすもの、融雪剤は塩化カルシウム等で水に溶けることで発熱して雪を溶かすもの、薬剤の種類が異なるので書き分けた。

(部会長)

事業者とのやりとりで、管理のレベルでの清掃とか含めた対応の話があったが、それは、この文案に含まれているのか。

(事務局)

今日の資料案を作るまでには内容を理解してなかったの、その部分は現在の案には盛り込めていないと思う。

(委員)

1頁目2(1)、盛土や高架構造等、とあるが、平面道路とか切り取りのところはないのか。

(事務局)

そういうものもあると思う。

(委員)

この書きぶりだけを読むと、盛土や高架構造等だけ対応してほしい、と書いているように見える。他はどうなのかなと思う。

面的予測の範囲はどのくらいまでやるのか？

(事務局)

環境基準とか、どの範囲まで広がるかというところで、事業者が判断し、出てきたもので判断することになる。

なお、先程の書きぶりについては、他は「等」で読む、と考えている。

(委員)

今の書きぶりだとくどい。この部分だけ具体的過ぎるのでは。「住民への影響がわかるような適切な予測をする」というようにした方が良いような気がする。

(事務局)

検討する。

(委員)

全体的事項の中に、追加として、平均ではなく最大・最小値を以て予測評価するよう書いてほしい。

事業者は、部会で話題になったこともあり意識はすごく持っておられるので、実際には配慮してくれると思うが、環境への影響を考えると、最大値というのは重要なので、県として、書けるのであれば書いてほしい。

(事務局)

検討する。

(委員)

資料3の18の、コウモリ類の集団営巣地としての評価の部分は、部会報告案のどこに反映されているのか。

(事務局)

(3)のところに盛り込んだ。

(委員)

だとすればニュアンスが違う。生物多様性の場合は、群集とか群落で種がいるということと、動物においては、集団営巣といってコロニーを作る、その場合の「集団」とまた違ってくるので、ある意味18が抜けている。

(委員)

どう書けばいいでしょうかね。

(部会長)

18を反映させる、ということですね。集団営巣の評価とか。

(委員)

集団「営巣」は鳥だけですよね。だったら、コウモリの場合は集団「繁殖」か。

(委員)

「コロニー」はコウモリの場合も使うが。

今のところ、コウモリ類だけになるかと思うが、小ほ乳類の繁殖ぐらいでどうか。

(事務局)

具体的にコウモリ類と書くべきか。

(委員)

「営巣」という言葉を使わずに集団「繁殖」とすれば、鳥であろうとほ乳類であろうと通じる。

(部会長)

他に、事務局から確認すべきことがあれば。

(事務局)

2(1) についてはどのようにしたらよいでしょうか。

(委員)

具体的に書かなくていい、ということでは。

(事務局)

もうちょっと住民へ騒音の影響がないような形で。

(委員)

影響がわかるような予測あるいはそういう評価法をやるような表現であればよい。

(事務局)

文章については相談する。

あと、(3)、「群集もしくは群落単位で」ということで、言葉としては良いか。それに、集団繁殖の評価を、という趣旨で文章を構成する、ということが良いか。あと、平均値でなく最大値で、というところは、検討させてもらう。

(部会長)

先程の凍結防止剤などの話とか、管理面での話はどこかに包含されているのか。準備書の段階でどこまで求めるか、というのがあと思うが。

(事務局)

調査予測及び評価というところですので、そこに含まれている、という理解でよいかと思う。

(部会長)

では、いただいた意見を踏まえて修正し、委員調整後、部会長確認、その後、会長へ報告したい。

(出席委員)

了解。